

ブランド京野菜のリン酸減肥基準を策定 (農林センター)

リン酸肥料の高騰に対応して施肥コストを低減するため、ブランド京野菜のうちミズナ・ネギ・ハナナについて可給態リン酸の土壌診断基準とリン酸減肥基準を策定し、施肥技術指針を作成

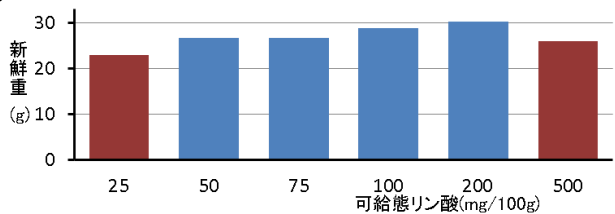


図1 土壌の可給態リン酸とミズナの生育量(減肥なし)

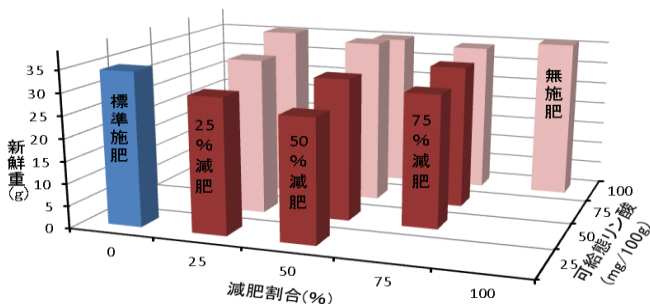


図2 リン酸減肥割合がネギの生育に及ぼす影響

■は標準施肥と比較して有意差あり、□は有意差なし。
標準施肥は野菜栽培基準(平成6年京都府農林水産部)による

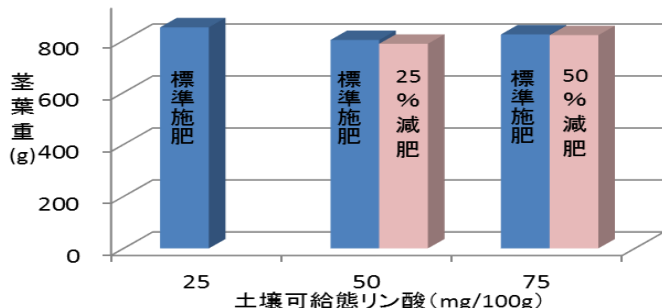


図3 リン酸減肥割合がハナナの生育に及ぼす影響
標準施肥は野菜栽培基準(平成6年京都府農林水産部)による

土壌診断基準(目標値)

ミズナ = 50mg/100g
ネギ = 50mg/100g
ハナナ = 25mg/100g

減肥基準

栽培前土壌の可給態リン酸 (mg/100g)

	25未満	~50	~75	~100	100以上
ミズナ	減肥なし	25%	50%	75%	100%(無施肥)
ネギ	減肥なし	25%	50%	75%	100%(無施肥)
ハナナ	減肥なし	25%	50%	(50%)*	

ミズナとネギは基肥のリン酸を減らし、ハナナは追肥のリン酸を減らす。

*: ハナナは露地栽培が主で75mg/100gを超えることは少ないが、その場合は50%減肥とする。

- ・ミズナとネギでは、土壌の可給態リン酸が25mg/100g未満では初期生育が劣り、500mg/100gでは過剰障害発生。ハナナでは25~75mg/100gの範囲で生育量は同等。
- ・ミズナ、ネギ、ハナナとも25mg/100g以上で段階的にリン酸減肥が可能。
- ・リン酸を減肥しても葉色は変わらない。

- ・上記3品目の「施肥技術指針」を作成しました。
- ・3~5作に1回は土壌分析を行い、その結果に基づいて減肥割合を決めます。